

第6回適正技術フォーラム セミナー&グループディスカッション
「開発途上国の**廃棄物処理**における適正技術」



廃棄物処理は、収集から処分に至る一連の過程が都市圏規模の限られた範囲で完結することが多く、対象地域の局所的な地形的・気象的条件により最適な技術が異なります。特に開発途上国は、経済的、技術的な制約要因が多数存在し、先進国の技術がそのまま移転できない場合が多いと考えられます。このフォーラムでは、途上国に必要なとされる廃棄物処理の概念や事例等をもとに適正技術について論じます。

2019年6月2日(日)
14:00~18:00 (受付開始:13:30)

会場 JICA 東京 (幡ヶ谷) セミナールーム 411
参加費 一般: 1,500 円、会員: 500 円、学生: 500 円
(懇親会参加費別途: 1,000 円程度)
定員 60 名
主催 適正技術フォーラム
共催 特定非営利活動法人APEX
東洋大学国際共生社会研究センター

お申込方法

下記の WEB サイトからお申込みいただくか、事務局にメール・FAX でご連絡下さい。

<https://atfj.jp/activity/forum/forumform/>

事務局・問い合わせ

適正技術フォーラム事務局

〒110-0003 東京都台東区根岸 1-5-12 井上ビル

TEL: 03-3875-9286 E-mail: info@atfj.jp

FAX: 03-3875-9306 URL: <https://atfj.jp/>

ATFJ Appropriate
Technology
Forum
Japan

APEX
Asian People's Exchange



〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5
アクセス: <https://www.jica.go.jp/tokyo/office/access.html>

プログラム

14:00-14:05 オープニング

14:05-14:50

「島嶼諸国の廃棄物処理と適正技術」

講師：桜井国俊（沖縄大学名誉教授）

14:50-15:35

「福岡方式の開発と適正技術」

講師：松藤康司（福岡大学名誉教授）

15:35-15:50 休憩

15:50-16:35

「廃棄物分野における開発途上国の制約要因と適正技術」

講師：北脇秀敏（東洋大学副学長・国際学部教授）

16:35-18:00 グループディスカッション

（終了後、懇親会）

講師プロフィール



沖縄大学名誉教授 桜井国俊氏(さくらい くにとし)

1973年東京大学工学系研究科博士課程修了。工学博士。専門は環境学(水汚染、廃棄物処理、途上国環境問題、環境アセスメントなど)。東京水俣病を告発する会、沖縄環境ネットワークなど多くの市民運動に関わる。WHOやJICAの環境専門家として多くの途上国で働く。その経験を踏まえ、開発途上国での廃棄物管理における適正技術についての考え方をまとめた“Improvement of Solid Waste Management in Developing Countries”をTechnical Handbook Seriesのうちの1巻としてJICAより1990年に出版。また、青年海外協力隊の環境教育隊員の育成に25年にわたり関わる。東京大学客員教授、沖縄大学教授、沖縄大学学長などを経て現在沖縄大学名誉教授。



福岡大学名誉教授 松藤康司氏(まつふじ やすし)

1971年福岡大学薬学部製薬化学科卒。薬剤師。技術士(衛生工学部門)。博士(工学)。専門分野：廃棄物埋立、埋立地の微生物、廃棄物処理処分、途上国の廃棄物問題など。1988年～1990年JICA長期専門家としてマレーシアに派遣され、埋立地の改善及び福岡方式(準好気性埋立構造)の技術移転を行う。その後、JICAや国連ハビタットの廃棄物専門家として多くの途上国で「福岡方式」の技術移転を行っている。著書：「A ROAD TO SANITARY LANDFILL」(VOL. 1～5)、「ごみ読本」他。廃棄物学会理事、副会長の他IWWG理事、JICA集団研修(廃棄物処理処分)講師等。2018年3月福岡大学工学部定年退職後福岡大学名誉教授。現在(NPO法人)廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡(SWAN-Fukuoka)理事長。



東洋大学教授・副学長 北脇秀敏氏(きたわき ひでとし)

東洋大学教授・副学長。1984年、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。その後、コンサルタント会社で廃棄物処理、下水道設計等に従事し、世界保健機関(WHO)本部、東京大学客員教授などを経て1997年より東洋大学国際地域学部教授。開発途上国の環境衛生と適正技術が専門。工学博士。著書に『国際開発と内発的発展—フィールドからみたアジアの発展のために—』(朝倉書店)、『土の環境圏』(フジ・テクノシステム)など。



このイベントは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。